

柏レイソル 歓迎の夕べ

2月2日にI G R京セラでおこなわれた「柏レイソル歓迎の夕べ」では、サッカーファンなど約300人が出席。各選手は、参加者のサインに快く応じるなど懇談を深めました。

柏レイソルの池谷新監督は「ファンの声援を受けると、選手は100メートル走るところも120～140メートル走れる力が湧いてきます。皆さんの応援が何よりの選手の力となりますので、今後ともよろしくお願いします。」と話されました。

また2月8日には、子どもサッカー教室もあり、子どもたちとの交流も深まったようでした。
(詳細は12ページ)

▶今年の決意を表明する池谷監督
(柏レイソル歓迎の夕べ)



◀選手・スタッフに子どもたちから花束が贈呈されました
(柏レイソル歓迎の夕べ)

～各チームの紹介～

柏レイソル (J1)

前身は日立製作所サッカー部。平成8年にJ1昇格。ホームタウンは千葉県柏市。チームカラーは黄色。レイソルとはスペイン語で太陽王を表わす。

今季から就任した池谷友良新監督のもと、元日本代表の明神智和選手(MF:ミッドフィルダー)、玉田圭司選手(FW:フォワード)、南雄太選手(GK:ゴールキーパー)に加え、ブラジルからワールドユースブラジル代表のドウドゥ選手(MF)、元日本代表山下芳輝選手(FW)らが加入し戦力を強化。3ヵ年計画の「レイソル日本一プロジェクト」により低迷している成績からの捲土重来を図る。

FC東京 (J1)

前身は東京ガスフットボールクラブ。平成12年にJ1昇格。昨年は年間成績4位(16チーム中)と過去最高の成績をおさめるなど飛躍の年となった。

監督は原博実氏。ジーコ監督率いる2006年サッカーワールドカップ日本代表の候補にも土肥洋一選手(GK)、加地亮選手(DF:ディフェンダー)、茂庭照幸選手(DF)の3選手が選ばれており、また戸田光洋選手(FW)三浦文丈選手(MF)、今野泰幸選手(MF)ジャーン選手(DF)など厚い選手層を誇る。原監督の掲げる攻撃サッカーで一気にJリーグの頂点を目指す。

京都パープルサンガ (J2)

前身は、大正11年京都教育大学OBチームの「紫郊クラブ」(昭和29年から紫光クラブと改称)。パープルサンガとは、チームカラーの紫(パープル)と、サンスクリット語で「仲間、群れ」を意味する「サンガ」を掛け合わせたもの。

総監督は木村文治氏、監督は西村昭宏氏。前季の成績不振により残念ながら今季はJ2に降格。J2で優勝し、再度J1への復帰を目指す。